

2015.08.27

ご支援 をいただいたみなさまへ

支援のご報告No.31

お父さんたちのネットワーク
石垣政裕

がんばれ！中学一年生！ －川崎の中学生が、支倉常長出帆の地を清掃－



それは、36度を超える、とても暑い日でした。おそらく、川崎市から来たといってもこの暑さには耐えられないかみしれないと思っていたおじさんの予想はいい意味で見事に覆されたのです。

川崎市臨港区にある市立臨港中学校の生徒がボランティアにやってきました。今年は、女子7名、男子2名の9名全員が1年生でした。そのほかに地域の方が3名、藤沢校長先生はじめ先生方が6名です。

被災地の見学と講話

待ち合わせ時間より少し早く、東部道路「名取」で待ち合わせをして、被災地の見学へ。

閑上は、石垣が小さい頃に行っていた港町で、涙を流さずに説明できるかどうか心配でした。ダンプカーが行き交い、土が積み上げられると、本当にどこの町だったのかもわからなくなってしまいます。子どもの頃、隣の「あんちゃん」に釣りに連れてきてもらって、そのあんちゃんが、帰りに自転車のスタンドをはずそうとして、結わえていた、その日の収穫が入っていた「ふご」を海に落っことした。あるときは浜辺を警察の人たちが、人を探しに来ていたこと。浜で自衛隊の砲撃訓練を見て、「戦争が始まる」と本気で泣いて同級生からからかわれたこと。次から次へと浮かんでいきます。そんなことを伝えたいのだけれど、型どおりの説明にしかありません。私たちは、閑上を巡り、奥松島のすっかり片づいた野蒜駅から、新しい仙石線を見たりしました。

臨港中学校宮城ボランティアツアースケジュール

- 1日目 8/4 (火) (コース決定後待ち合わせ場所決定)
- 14:00 頃 宮城県入り 名取市閑上～東松島被災地見学
 - 17:30 大崎市鹿島台学童農園着～食事
 - 19:00 ミーティング 講話「私が体験してきた災害」
鹿島台おやじの会 照井貴広
 - 20:30 花火大会
 - 21:00 入浴～就寝
- 2日目 8/5 (水)
- 7:00 鹿島台出発
 - 8:30 月の浦到着～草取り開始
 - 14:30 月の浦 出発～石巻視察～仙台へ
 - 17:00 仙台着 仙台城址見学～東北大学(夕食・案内)
 - 19:00 仙台七夕花火祭見学 ～
 - 21:30 鹿島台学童農園着 入浴～就寝
- 3日目 8/6 (木)
- 8:30 鹿島台出発～
 - 10:00 山元夢ファーム着～ボランティア開始
(桑の葉の摘み取り 等)
 - 12:00 食事
 - 13:00 山元出発～帰路



宿舎では、多賀城中おやじの会の佐々木さんが提供してくれた食材が鹿島台おやじの会のシェフ照井の腕によってみごとな夕飯に生まれ変わる。サラダなどは照井さんが都合してくれた、すべて新鮮な地元鹿島台の新鮮野菜。いやあうまいのなんのって。

鹿島台は、これまでに水害や(東日本大震災以前にも)地震で大きな被害を被っています。食後、照井さんの夜の講話に聞き

き入る中学生たちは真剣で、自分たちのまちのことに思いを寄せていました。

月の浦の除草



今年は、午前中の涼しいうちに作業を終わらせようとしたのですが、とんでもない！午前中から暑いのです。それでも、中学生たちは、宮沢賢治の「夏の暑さにもまけぬ」丈夫な精神で、草刈り機で刈った草を集め、トラックに積み、絡みついた雑草を引っ張り、トイレの掃除からペンキ塗りまで黙々とこなしました。「おおっ！宮沢賢治がこんなところにもいるじゃないか。おじさんたちの目にはそう映るのです。

今年も区長の相沢さんから「過日は暑さ、厳しき中種々と清掃をして戴きまして、真にありがとうございました。感謝申し上げます。すっかり綺麗になりまして地元の皆も大変喜んで降りました。(後略)」という礼状をいただきました。

山元町のポニー牧場へ



次の日も酷暑。その中で「山元夢ファーム」で農作業。NPO法人「未来に向かって助け合い」でのボランティアの手伝い。この牧場は南相馬市で飼われていたポニーが住民のコミュニティの手伝いのために活躍している。

今日の作業は、桑畑の除草です。範囲を広げないで、「できるところだけしっかりやりましょう。」ということだったのですが、宮沢賢治の申し子のような中学生がやめようとしな。とうとう相当



広い畑の4/5ぐらいまで終わってしまいました。

一気に涼くなった、一足早い新学期に、おじさんは真っ黒になった両の腕をさすりながら思うのです。あの暑いときによく頑張ったなあ、あたまがさがるなあ。それにしても、子どもたちをボランティアに送り出してくれた臨港中の地域の人たちも心から感謝する次第なのです。